

最新知見のスクリーニング状況の概要（自然ハザードに関するもの）（案）

令和3年4月14日 長官官房 技術基盤グループ

（期間：令和2年12月12日から令和3年3月12日まで）

最新知見等 情報シート番号	件名	スクリーニング結果 (対応の方向性(案))	資料ページ
20 地津-(B)-0011	NRA 技術報告「野島断層の断層破碎物質を用いた地震性すべりの直接的年代測定手法の検証」に係る最新知見について	iii)	2~3
21 地津-(D)-0006	地震本部「全国地震動予測地図2020年版」(3/26公表)に係る最新知見について	vi)	4~6

対応の方向性（案）： i）直ちに規制部等関係部署に連絡・調整し、規制庁幹部に報告する。 ii）対応方針を検討し、技術情報検討会へ諮問する。 iii）技術情報検討会に情報提供・共有する。 iv）情報収集活動を行い、十分な情報が得られてから再度判断する（必要な場合には安全研究を実施する）。 v）安全研究企画プロセスに反映する。 vi）終了案件とする。以下同じ。

最新知見のスクリーニング状況（自然ハザードに関するもの）（案）

令和3年4月14日 長官官房 技術基盤グループ

（期間：令和2年12月12日から令和3年3月12日まで）

最新知見等情報シート番号	件名	情報の概要	受理日	1次スクリーニング		2次スクリーニング		
				対応の方向性	理由	対応の方向性	理由	対応方針
20 地津-(B)-0011	NRA 技術報告「野島断層の断層破碎物質を用いた地震性すべりの直接的年代測定手法の検証」に係る最新知見について	<p>発表日：令和3年2月18日 情報元：NRA 技術報告 表題：野島断層の断層破碎物質を用いた地震性すべりの直接的年代測定手法の検証 著者：宮脇昌弘・内田淳一</p> <p>本研究は、安全研究「断層破碎物質を用いた断層の活動性評価手法に関する研究」（実施期間：平成25年度～令和元年度）プロジェクトのうち、「定量的評価手法に基づく断層の活動性評価手法の整備」に係る研究テーマの一部である。本研究テーマでは、活動時期の分かっている断層を対象として、ボーリング調査等によって採取した断層破碎物質を用いて年代測定を行い、直接的な年代測定手法の有効性について検証した。</p> <p>1995年の兵庫県南部地震で地表変位が確認されている野島断層を対象として深部ボーリング調査等によって異なる深度の断層破碎物質を採取し、それぞれの試料について直接的年代測定としてルミネッセンス（OSL 及び ITL）年代測定、電子スピン共鳴（ESR）年代測定、K-Ar 年代測定を実施した。その結果、いずれの年代値も地下深部ほど若くなることが示された。この中で、ルミネッセンス年代値は、深度 897m の一部の断層破碎物質において、野島断層の最新活動時期（20 年前</p>	2020/12/11	iii)	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内及び敷地周辺の地質・地質構造調査に係る審査ガイドの解説では「断層破碎物質を用いた活動性評価に関しては、信頼性の高い活動年代の評価手法が確立されていない。断層破碎物質の性状から断層の活動性評価を評価する場合には、このことを十分に考慮する必要がある」としている。 本研究は、断層破碎物質を用いた断層の活動性評価手法による評価結果の一例について記したものである。 よって、本技術文書により現行規制基準及びガイドを直ちに反映する事項はない。 本研究では、断層破碎物質を用いたルミネッセンス年代測定は K-Ar 年代測定に比べて信頼性の高い断 	iii)	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内及び敷地周辺の地質・地質構造調査に係る審査ガイドの解説では「断層破碎物質を用いた活動性評価に関しては、信頼性の高い活動年代の評価手法が確立されていない。断層破碎物質の性状から断層の活動性評価を評価する場合には、このことを十分に考慮する必要がある」としている。 本研究は、断層破碎物質を用いた断層の活動性評価手法による評価結果の一例について記した 	

最新知見等情報シート番号	件名	情報の概要	受理日	1次スクリーニング		2次スクリーニング		
				対応の方向性	理由	対応の方向性	理由	対応方針
		<p>*) に対して数万年前の評価結果となり、活断層の認定に当たって、後期更新世以降の活動性が明確に判断できない場合の基準である中期更新世以降（約 40 万年前以降）における断層活動の有無を判断する情報が得られることが示された。以上のことから、断層破碎物質を用いたルミネッセンス年代測定が断層の活動性評価に有効であることが示された。</p> <p>*本研究の実施時期からの起算。</p>			<p>層活動年代の評価手法であることを示す情報が得られ、審査にとって有用な知見である。</p> <p>以上より、技術情報検討会に情報提供・共有するとともに事業者に対して本知見を周知する。</p>		<p>ものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よって、本技術文書により現行規制基準及びガイドを直ちに反映する事項はない。 ・ 本研究では、断層破碎物質を用いたルミネッセンス年代測定は K-Ar 年代測定に比べて信頼性の高い断層活動年代の評価手法であることを示す情報が得られ、審査にとって有用な知見である。 ・ 以上より、技術情報検討会に情報提供・共有するとともに事業者に対して本知見を周知する。 	

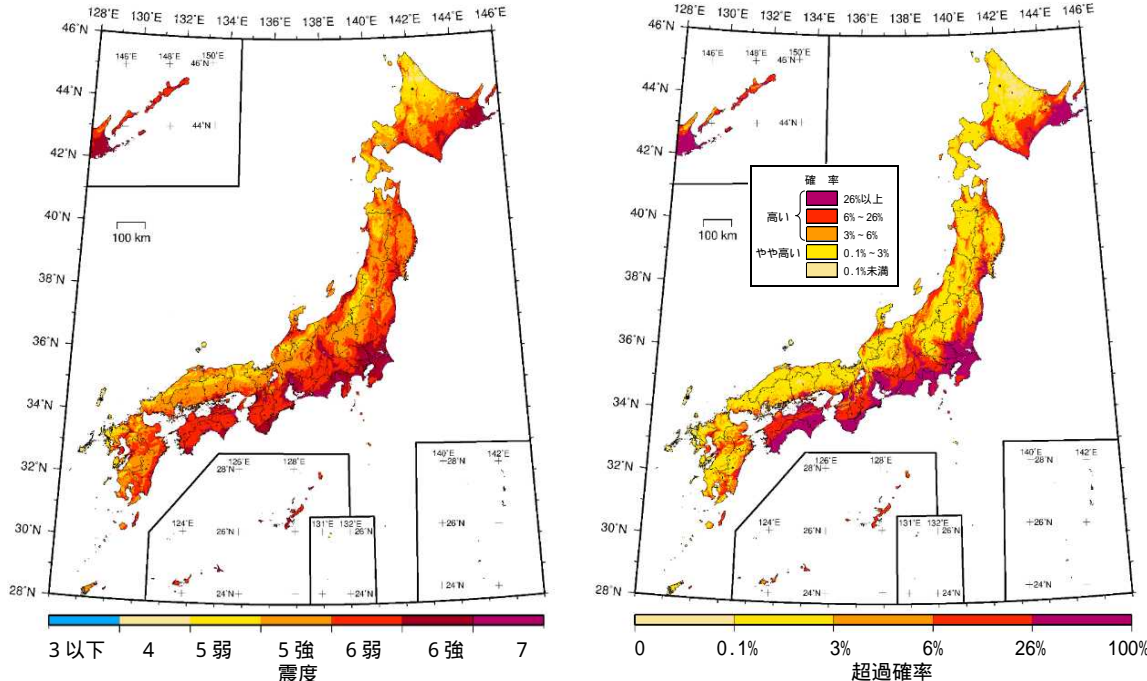
最新知見等情報シート番号	件名	情報の概要	受理日	1次スクリーニング		2次スクリーニング		
				対応の方向性	理由	対応の方向性	理由	対応方針
21 地津-(D)-0006	地震本部「全国地震動予測地図2020年版」(3/26公表)に係る最新知見について	<p>発表日： 令和3年3月26日 情報元： 地震調査研究推進本部 表題： 全国地震動予測地図2020年版</p> <p>「全国地震動予測地図」は、地震発生 of 長期的な確率評価と強震動の評価とを組み合わせ、全国を概観して、今後一定の震度以上の揺れに見舞われる確率の分布などを示したものである。本予測地図は「確率論的地震動予測地図」と「震源断層を特定した地震動予測地図(シナリオ地震動予測地図)」からなり、前者は考慮し得るすべての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるかを地図上に示したもので、後者はある特定の震源断層において、地震が発生した場合に各地点がどのように揺れるのかを地図上に示したものとなっている。全国地震動予測地図はほぼ毎年更新されているが、2020年版においては地震発生頻度の計算方法や、評価の精度向上を目的としたモデルの改良が行われている(参考参照)。</p> <p>主な改良点は以下のとおり。 (1) 確率論的地震動予測地図作成に係る改良 ①発生する地震の多様性を考慮した震源モデルによる地震規模と発生頻度の再評価(日本海溝沿い及び南海トラフ沿いで発生するプレート境界地震を対象) ②地震発生頻度の計算法の改良(東北地方太平洋沖地震後の余震及び海域で発生する活断層など</p>	2021/3/31	vi)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該情報には、全国地震動予測地図2020年版の地図作成において適用された、地震発生頻度の計算方法や評価の精度向上のためのモデル改良に関わる情報が含まれている。 ・基準地震動の策定において、地震発生頻度の情報は不要であること、また、地盤増幅率の計算に用いる地下構造モデルの改良については、原子力発電所では、既に地震動予測地図よりも精緻な地質・地盤評価を行い、地震動を策定している。よって、一般の全国地震動予測地図2020年版に導入された改良が原子力施設の地震動評価に与える影響はないと考えられる。 ・以上より、終了案件とする。 			

最新知見等情報シート番号	件名	情報の概要	受理日	1次スクリーニング		2次スクリーニング		
				対応の方向性	理由	対応の方向性	理由	対応方針
		<p>の浅い地震の震源断層があらかじめ特定しにくい地震を新たに考慮) ③地盤増幅率の計算に用いる浅部地盤構造モデルの改良</p> <p>(2) 震源断層を特定した地震動予測地図(シナリオ地震動予測地図)作成に係る改良 強震動予測手法「レシピ」における地盤増幅率の計算に用いる浅部地盤構造モデルの改良</p> <p>(1) ①②は、地震の規模と発生頻度の評価の改良に関わるものである。地震の規模と発生頻度の関係は過去に発生した地震のカタログに基づく経験式によりモデル化される。今般の改良により日本海溝沿い及び南海トラフ沿いの震源断層を特定した地震について、より多様な震源を考慮することにより、従来に比べてより多様な地震規模を持った地震が低頻度で発生するというモデルとなっている。このモデルにより超過確率を算定した結果、静岡県、長野県地域などで確率の低下が見られている。また、震源断層を予め特定しにくい地震として、従来は考慮されていなかった余震の他、新たな領域で発生する地震も評価に加えられたため、様々な規模を持つ地震の発生頻度が増加する傾向となっている。この結果、関東～東北地方の太平洋沿岸地域で超過確率の増加が見られる。</p> <p>(1) ③及び(2)は地盤増幅率の計算に用いる地下構造モデルの精緻化に関わるもので、地震動</p>						

最新知見等情報シート番号	件名	情報の概要	受理日	1次スクリーニング		2次スクリーニング		
				対応の方向性	理由	対応の方向性	理由	対応方針
		評価の高精度化が図られており、地震動が強くなった場所と弱くなった場所が見られる。						

1. 確率論的地震動予測地図

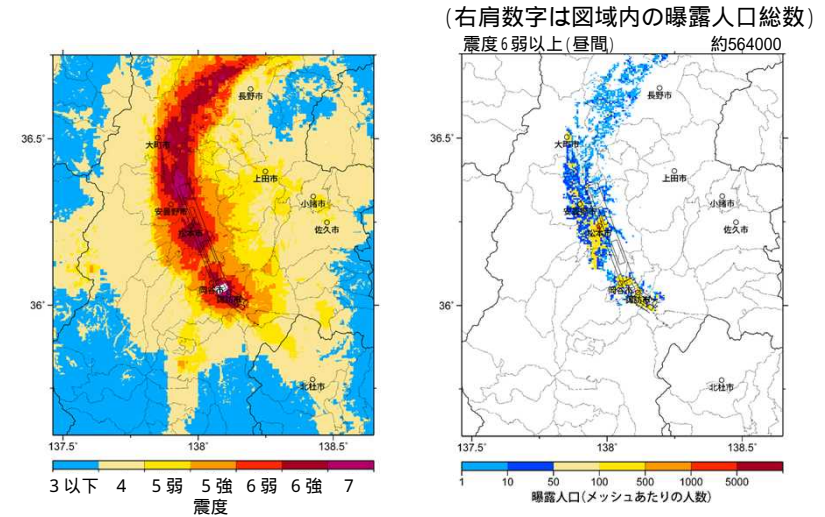
現時点で考慮し得るすべての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるのかをまとめて計算し、その分布を示した地図群。揺れの強さ、期間、確率のうち二つの値を固定して、残りを地図に示す。確率の評価基準日は2020年1月1日。



今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度 / 期間と確率を固定して震度を示した地図の例
「今後30年間に震度 以上の揺れに見舞われる確率」が0.1%、3%、6%、26%であることは、ごく大まかには、それぞれ約30,000年、約1,000年、約500年、約100年に1回程度震度 以上の揺れが起こり得ることを意味している。

2. 震源断層を特定した地震動予測地図 (シナリオ地震動予測地図)

ある特定の震源断層において、地震が発生した場合に各地点がどのように揺れるのかを計算してその分布を示した地図。この地図を活用した例として、ある震度以上の揺れにさらされる人口の分布を示すものがある。



糸魚川 - 静岡構造線断層帯中北部区間が活動する地震による地表震度分布の例

糸魚川 - 静岡構造線断層帯中北部区間で発生する地震で震度6弱以上の揺れにさらされる人口の分布の例

3. 全国地震動予測地図2020年版の特徴

2020年版では主に以下の変更を行った。

日本海溝沿いのプレート間巨大地震や南海トラフ沿いで発生する大地震について従来よりも震源域の多様性を考慮したモデルに変更

震源断層を予め特定しにくい地震のモデルの改良(東北地方太平洋沖地震後の地震活動の考慮など)

地下構造モデルの改良

地震発生確率の評価基準日変更(2020年1月1日)

地震動予測地図の配色の変更

地方別・都道府県別の地震動予測地図の掲載

「今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」の地図では、北海道南東部や仙台平野の一部、首都圏、東海～四国地域の太平洋側及び糸魚川-静岡構造線断層帯の周辺地域などの確率が高い。

なお、2018年版に比べて、主に以下の違いがある。

- (1) 東北地方や関東地方北部の太平洋側では、東北地方太平洋沖地震後の地震活動を考慮したことによる確率の増加
- (2) 関東地方では、増幅率の計算に用いる浅部地盤構造モデルを改良したことによる確率の増減
- (3) 山梨県・静岡県・長野県東部では、南海トラフ沿いで発生する大地震の震源域について従来よりも多様性を考慮したことによる確率の減少

確率論的地震動予測地図における2018年版との主な違い

「今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」の地図では、2018年版に比べて、主に以下の違いがある。

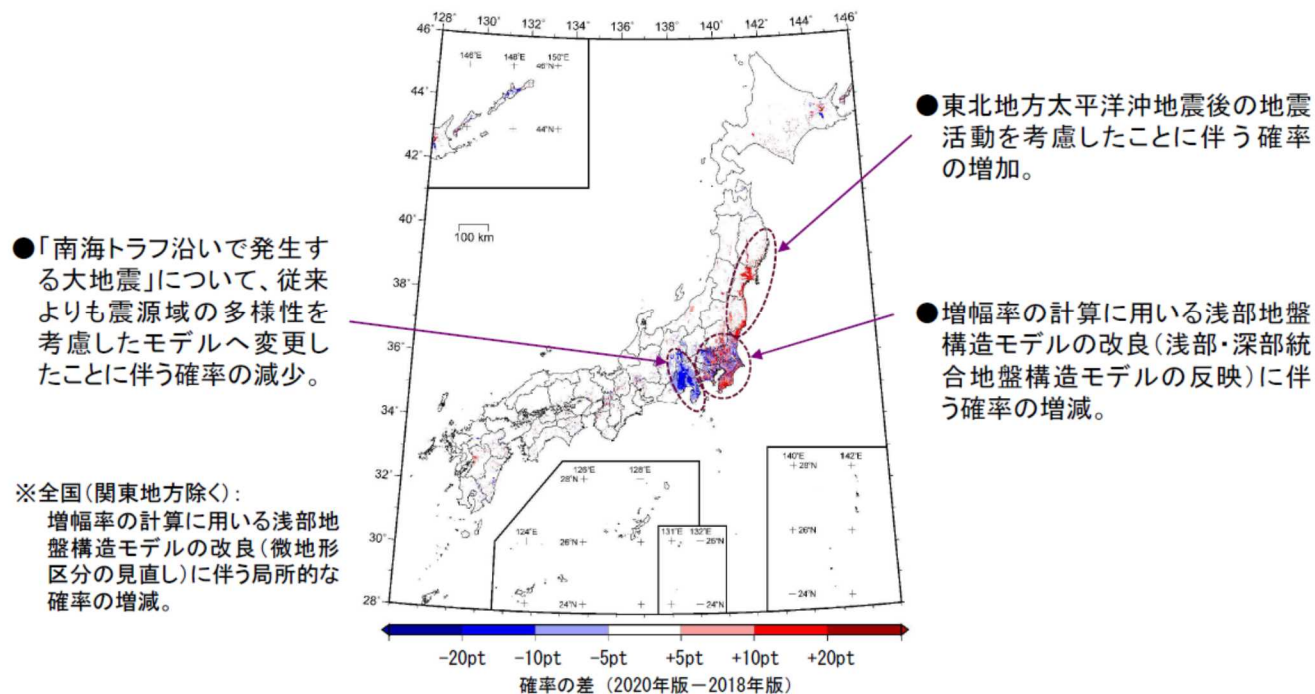
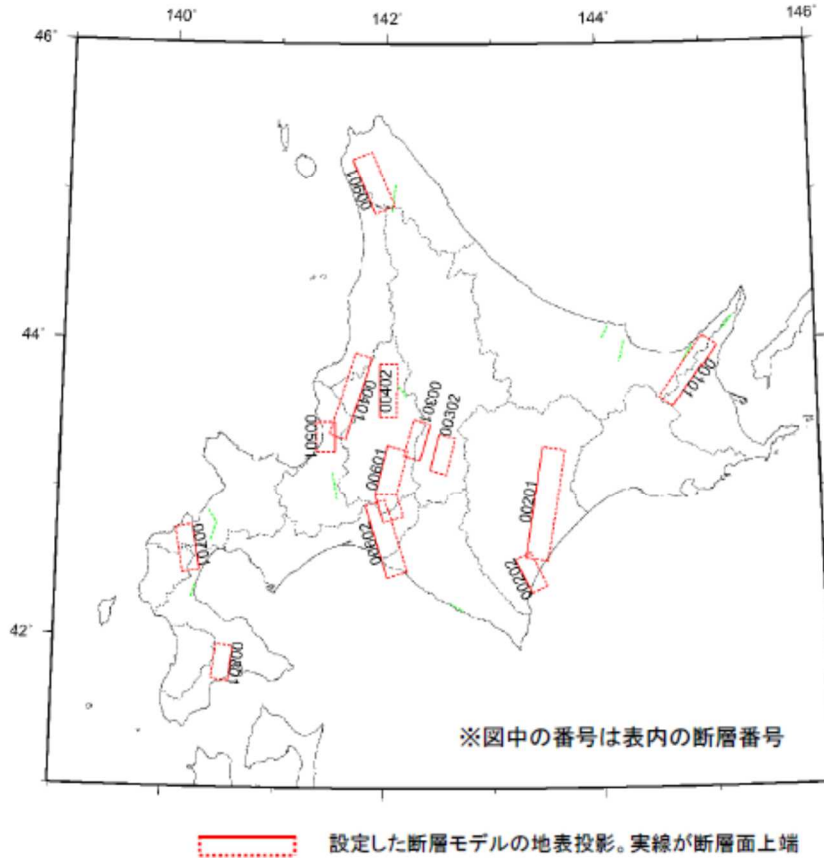


図5 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(平均ケース・全地震)の変化(2020年版-2018年版)

※2018年版との主な違いについては、「作成条件・計算結果編」に詳しく記載。

主要活断層帯及び地域評価で評価された活断層帯 索引



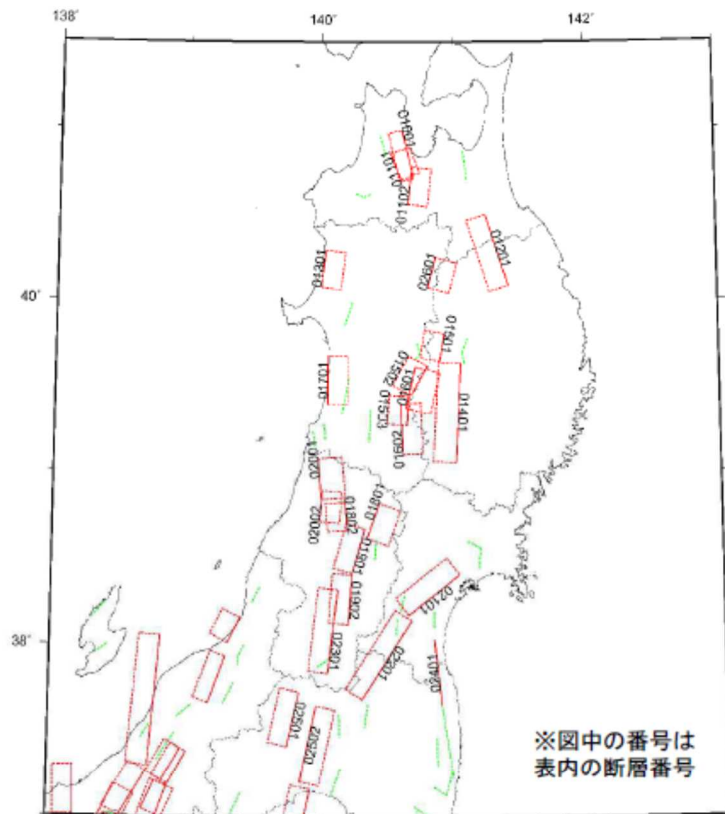
断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ
1	標津断層帯	00101		337
2	十勝平野断層帯	00201	主部	339
		00202	光地園断層	341
3	富良野断層帯	00301	西部	343
		00302	東部	345
4	増毛山地東縁断層帯・沼田一砂川付近の断層帯	00401	増毛山地東縁断層帯	347
		00402	沼田一砂川付近の断層帯	349
5	当別断層	00501		351
6	石狩低地東縁断層帯	00601	主部	353・355
		00602	南部	357
7	黒松内低地断層帯	00701		359
8	函館平野西縁断層帯	00801		361
9	サロベツ断層帯	00901		363

主要活断層帯の巨視的断層モデルと断層名一覧 【北海道地域】

- 329 -

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf



断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ
10	青森湾西岸断層帯	01001		365
11	津軽山地西縁断層帯	01101	北部	367
		01102	南部	368
12	折爪断層	01201		370
13	能代断層帯	01301		372
14	北上低地西縁断層帯	01401		374
		01501	雫石盆地西縁断層帯	376
15	雫石盆地西縁-真昼山地東縁断層帯	01502	真昼山地東縁断層帯北部	377
		01503	真昼山地東縁断層帯南部	379
		01601	北部	380
16	横手盆地東縁断層帯	01602	南部	382
		01701		384
17	北由利断層	01801	東部	386
		01802	西部	388
18	新庄盆地断層帯	01901	北部	390
		01902	南部	392
19	山形盆地断層帯	02001	北部	394
		02002	南部	396
20	庄内平野東縁断層帯	02101		398
21	長町-利府縁断層帯	02201		400
22	福島盆地西縁断層帯	02301		402
23	長井盆地西縁断層帯	02401		404
24	双葉断層	02501	会津盆地西縁断層帯	406
		02502	会津盆地東縁断層帯	408
25	会津盆地西縁・東縁断層帯	02601		410
26	花輪東断層帯			

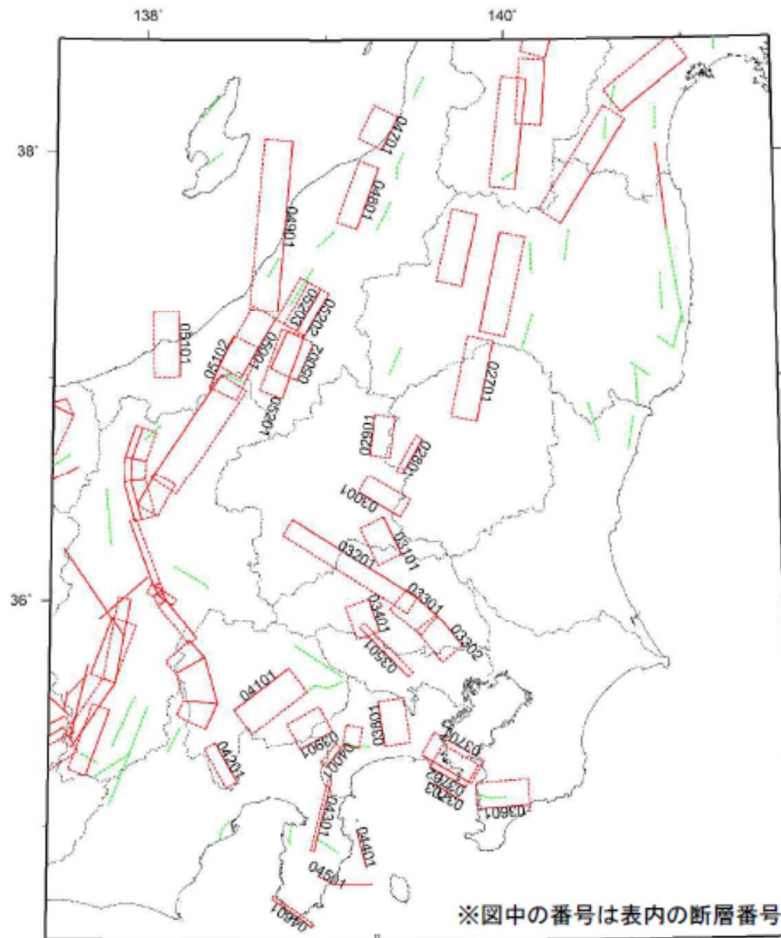
※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯

主要活断層帯の巨視的断層モデルと断層名一覧 【東北地域】

- 330 -

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf



断層帯番号	断層帯名称	断層番号	起震断層名	参照ページ
27	関谷断層	02701		411
28	内ノ箱断層	02801		413
29	片品川左岸断層	02901		414
30	大久保断層	03001		415
31	太田断層	03101		417
32	深谷断層帯	03201		419
33	綾瀬川断層	03301	鴻巣-伊奈区間	422
		03302	伊奈-川口区間	424
34	越生断層	03401		426
35	立川断層帯	03501		427
36	鞆川低地断層帯	03601		429
		03701	主部衣笠-北武断層帯	431
37	三浦半島断層群	03702	主部武山断層帯	433
		03703	南部	435
38	伊勢原断層	03801		436
39	塩沢断層帯	03901		438
40	平山-松田北断層帯	04001		440

断層帯番号	断層帯名称	断層番号	起震断層名	参照ページ
41	曾根丘陵断層帯	04101		442
42	身延断層	04201		444
43	北伊豆断層帯	04301		446
44	伊東沖断層	04401		448
45	稲取断層帯	04501		449
46	石廊崎断層	04601		451
47	桶形山脈断層帯	04701		453
48	月岡断層帯	04801		455
49	長岡平野西縁断層帯	04901		457
50	十日町断層帯	05001	西部	459
		05002	東部	461
51	高田平野断層帯	05101	高田平野西縁断層帯	462
		05102	高田平野東縁断層帯	464
52	六日町断層帯	05201	南部	466
		05202	北部(モデルA)	468
		05203	北部(モデルB)	470

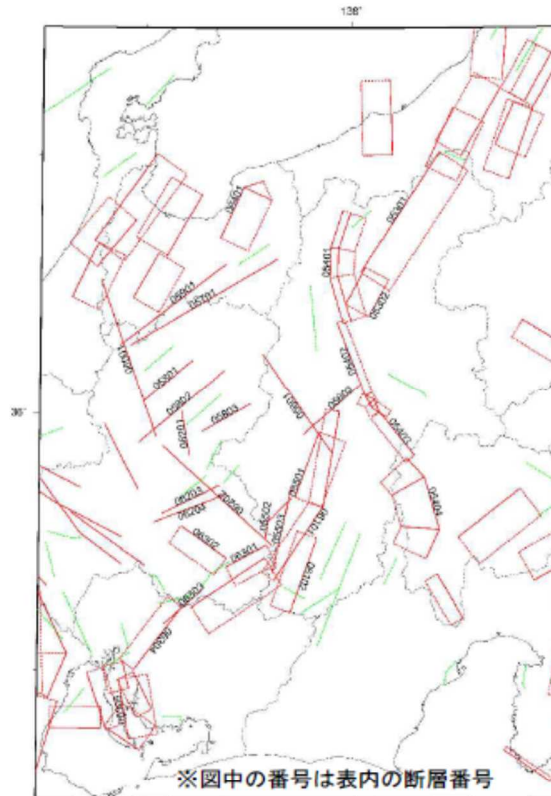
※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯

主要活断層帯または地域評価で評価された活断層の巨視的断層モデルと断層名一覧
【関東地域】

- 331 -

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf

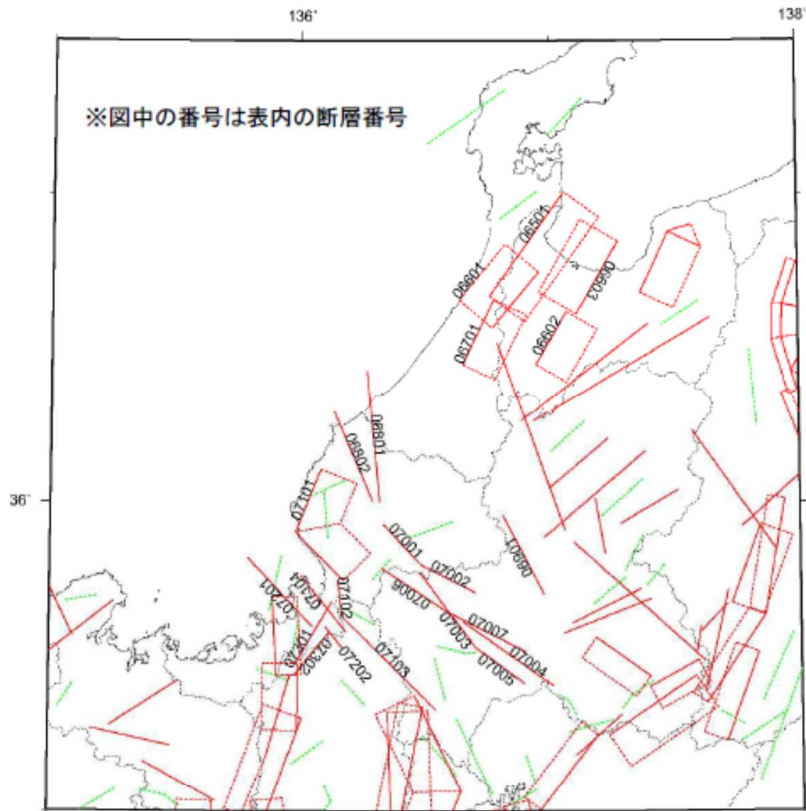


断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ
53	長野盆地西縁断層帯	05301	飯山-千曲区間	472
		05302	麻績区間	475
54	糸魚川-静岡構造線断層帯	05401	北部区間	476
		05402	中北部区間	478
		05403	中南部区間	480
		05404	南部区間	482
		05501	主部北部	484
55	木曾山脈西縁断層帯	05502	主部南部	486
		05503	清内路峠断層帯	487
		05601	主部	489
56	境峠・神谷断層帯	05602	霧訪山-奈良井断層帯	491
		05701		493
57	跡津川断層帯	05801	国府断層帯	495
		05802	高山断層帯	497
		05803	猪之鼻断層帯	499
59	牛首断層帯	05901		501
60	庄川断層帯	06001		503
61	伊那谷断層帯	06101	主部	505-507
		06102	南東部	509
62	阿寺断層帯	06201	主部北部	511
		06202	主部南部	513
		06203	佐見断層帯	515
		06204	白川断層帯	517
		06301	屏風山断層帯	519
63	屏風山・恵那山断層帯 及び猿投山断層帯	06302	赤河断層帯	520
		06303	恵那山-猿投山北断層帯	522
		06304	猿投-高浜断層帯	524
		06305	加木豊断層帯	526
		06401	魚津断層帯	528-530

※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯
 主要活断層帯または地域評価で評価された活断層の巨視的断層モデルと断層名一覧
 【中部地域】(その1)

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
 震源断層を特定した地震動予測地図(シナリオ地震動予測地図)

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf



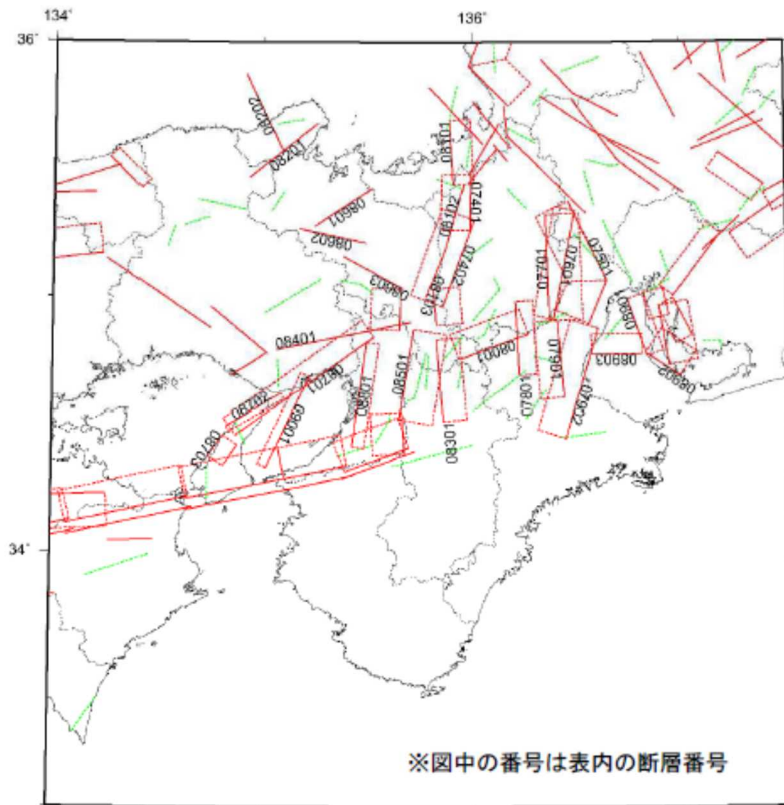
断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ
65	邑知浜断層帯	06501		532
66	砺波平野断層帯・呉羽山断層帯	06601	砺波平野断層帯西部	534
		06602	砺波平野断層帯東部	536
		06603	呉羽山断層帯	538
67	森本・高程断層帯	06701		540
68	福井平野東縁断層帯	06801	主部	542
		06802	西部	544
69	長良川上流断層帯	06901		546
70	濃尾断層帯	07001	濃尾断層北西部	548
		07002	濃尾断層南東部	549
		07003	主部根尾谷断層帯	551
		07004	主部梅原断層帯	553
		07005	主部三田洞断層帯	555
		07006	揖斐川断層帯	556
		07007	武儀川断層	558
		07008	1891濃尾地震 濃尾北西+根尾谷+梅原	560
71	柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯	07101	主部北部	562・564
		07102	主部中部	566
		07103	主部南部	567
		07104	浦底一柳ヶ瀬山断層帯	569
72	野坂・集福寺断層帯	07201	野坂断層帯	571
		07202	集福寺断層	573
73	湖北山地断層帯	07301	北西部	574
		07302	南東部	576

※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯

主要活断層帯の巨視的断層モデルと断層名一覧
【中部地域】（その2）

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf



断層帯番号	断層帯名	断層番号	起震断層名	参照ページ
74	琵琶湖西岸断層帯	07401	北部	577
		07402	南部	579
75	美老一桑名一四日市断層帯	07501		581-583
76	鈴鹿東縁断層帯	07601		585
77	鈴鹿西縁断層帯	07701		587
78	頓宮断層	07801		589
79	布引山地東縁断層帯	07901	西部	591
		07902	東部	593
80	木津川断層帯	08001		595
81	三方・花折断層帯	08101	三方断層帯	597
		08102	花折断層帯北部	599
		08103	花折断層帯中南部	601
82	山田断層帯	08201	主部	603
		08202	郷村断層帯	605
83	京都盆地-奈良盆地断層帯南部	08301	奈良盆地東縁断層帯	607
84	有馬一高槻断層帯	08401		609
85	生駒断層帯	08501		611
86	三峠・京都西山断層帯	08601	上林川断層	613
		08602	三峠断層	615
		08603	京都西山断層帯	617
		08701	主部六甲山地南縁-淡路島東岸区間	619
87	六甲・淡路島断層帯	08702	主部淡路島西岸区間	621
		08703	先山断層帯	623
		08801		624-626
88	上町断層帯	08901	主部北部	628
		08902	主部南部	630
		08903	白子-野間断層	631
90	大阪湾断層帯	09001		633

※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯

主要活断層帯の巨視的断層モデルと断層名一覧

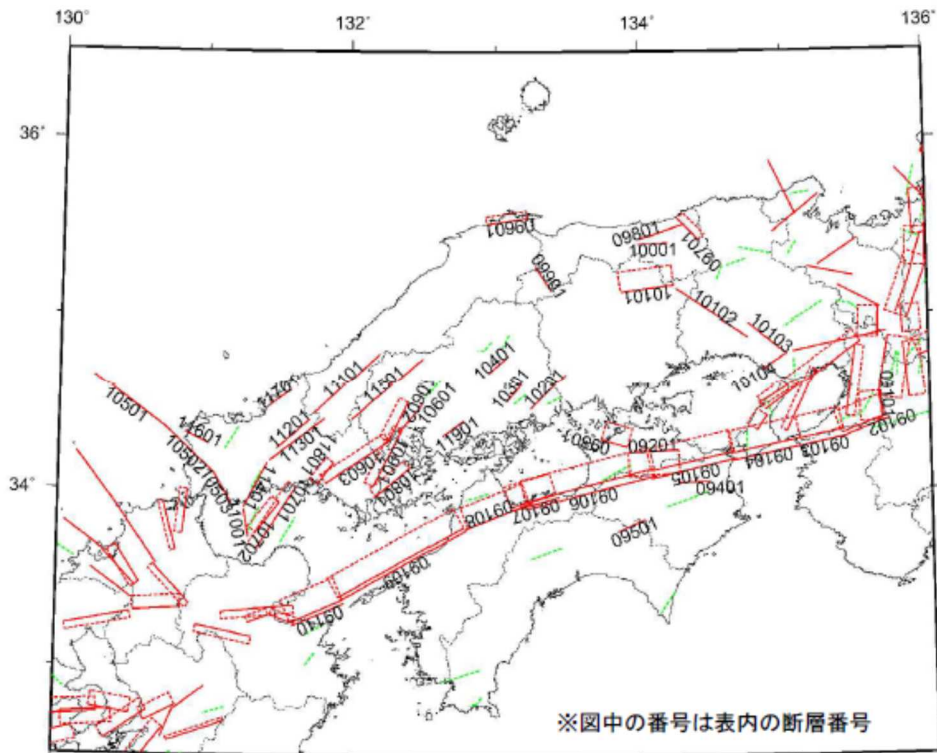
【近畿地域】

- 334 -

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編

震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf

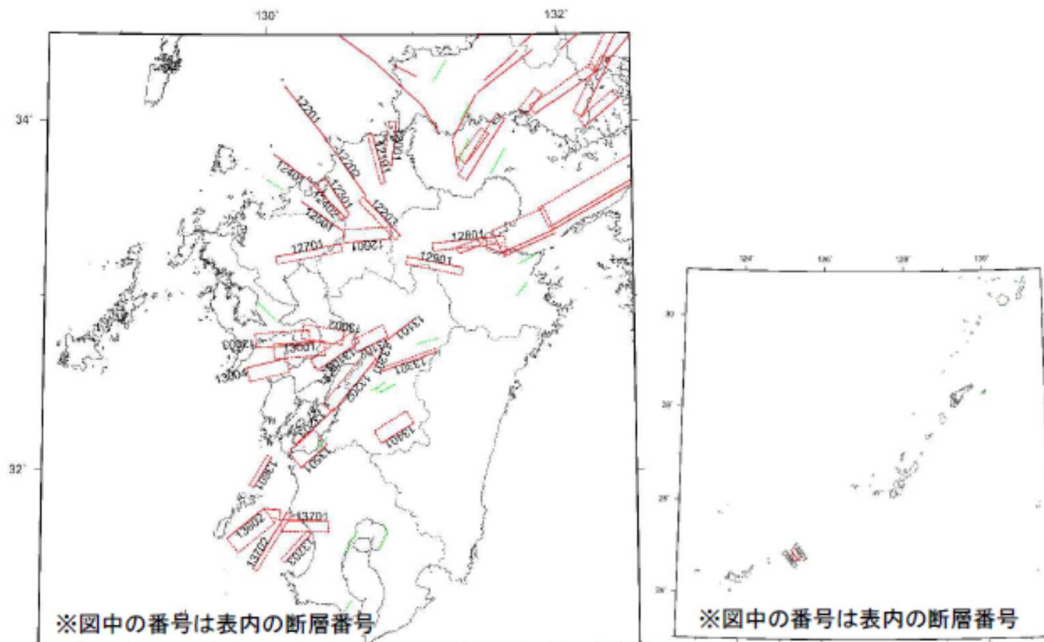


断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ	断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ
91	中央構造線断層帯	09101	金剛山地東縁区間	635	105	菊川断層帯	10501	北部区間	713
		09102	五条谷区間	637			10502	中部区間	715
		09103	根来区間	642			10503	南部区間	717
		09104	紀淡海峡-瑞門海峡区間	647			10504	北部区間+中部区間	719
		09105	讃岐山脈南縁東部区間	652			10505	中部区間+南部区間	721
		09106	讃岐山脈南縁西部区間	657			10506	菊川断層帯全体	723
		09107	石鎚山脈北縁区間	662	10601	己斐断層区間	725		
		09108	石鎚山脈北縁西部区間	667	10602	五日市断層区間	727		
		09109	伊予灘区間	672	10603	岩国断層区間	729		
		09110	豊予海峡-由布院区間	677	10604	己斐断層区間+岩国断層区間	731		
		09111	金剛山地東縁区間~ 豊予海峡-由布院区間	682	10605	五日市断層区間+岩国断層区間	733		
92	長尾断層帯	09201		690	107	周防灘断層帯	10701	主部区間	735
93	上法軍寺断層	09301		692			10702	秋穂冲断層区間	737
94	上浦-西月/宮断層	09401		693	108	安芸灘断層帯	10801		739
95	瀬川断層	09501		694	109	広島湾-岩国冲断層帯	10901		741
96	中央(鹿島)断層	09601		695	110	宇部南方冲断層	11001		743
97	雨滝-釜戸断層	09701		697	111	弥栄断層	11101		745
98	鹿野-吉岡断層	09801		698	112	地福断層	11201		747
99	日南湖断層	09901		700	113	大原湖断層	11301		749
100	岩坪断層	10001		701	114	小郡断層	11401		751
101	山崎断層帯	10101	那岐山断層帯	702	115	筒賀断層	11501		753
		10102	主部西北部区間	704	116	滝部断層	11601		755
		10103	主部南東部区間	706	117	奈古断層	11701		756
		10104	草谷断層	708	118	栄谷断層	11801		757
102	長者ヶ原-芳井断層	10201		709	119	黒瀬断層	11901		758
103	宇津戸断層	10301		711					
104	安田断層	10401		712					

※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯
 主要活断層帯または地域評価で評価された活断層の巨視的断層モデルと断層名一覧
 【中国・四国地域】

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
 震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf



断層帯番号	断層帯名称	断層番号	区間名	参照ページ
120	小倉東断層帯	12001		759
121	福智山断層帯	12101		761
122	西山断層帯	12201	大島沖区間	763
		12202	西山区間	765
		12203	嘉麻峠区間	767
123	宇美断層帯	12301		769
124	警固断層帯	12401	北西部	771
		12402	南東部	773
125	日向峠-小笠木峠断層帯	12501		775
126	水鏡断層帯	12601		777
127	佐賀平野北縁断層帯	12701		779
128	日出生断層帯	12801		781
129	万年山-扇平山断層帯	12901		784
130	雲仙断層群	13001	北部	787
		13002	南東部	789
		13003	南西部北部	791
		13004	南西部南部	793
131	布田川断層帯	13101	布田川区間	795
		13102	宇土区間	797
		13103	宇土半島北岸区間	799
132	日奈久断層帯	13201	高野-白旗区間	801
		13202	日奈久区間	802
		13203	八代海区間	804
133	綾川断層帯	13301		806
134	人吉盆地南縁断層帯	13401		808
135	出水断層帯	13501		810
136	鶴断層帯	13601	上鶴島北東沖区間	812
		13602	鶴区間	814-816
137	市来断層帯	13701	市来区間	818
		13702	鶴海峡中央区間	820
		13703	吹上浜西方沖区間	822
138	宮古島断層帯	13801	中部	824
		13802	西部	826

※グレーで塗りつぶされた断層帯は、簡便法のための計算を行った断層帯

主要活断層帯または地域評価で評価された活断層の巨視的断層モデルと断層名一覧
【九州・沖縄地域】

出典：地震調査研究推進本部 全国地震動予測地図 2020年版地図編
震源断層を特定した地震動予測地図（シナリオ地震動予測地図）

https://www.jisin.go.jp/maim/chousa/20_yosokuchizu/yosokuchizu2020_chizu_30.pdf